

「広告企画」 「SC-F2150」と「SC-F550」でTシャツ&グッズもポリエステルにフル対応！

昇華小型機とポリ用前処理剤に 見るエプソンの「本気と覚悟」

今 年9月20日、21日に開催された、オーダーグッズの総合展示会「オーダーグッズビジネス

ショー2019」。この会場で一際賑わうブースがあった。出展していたのは、世界的に有名なブ

リンターメーカー、エプソンだ。

同社ブースには、ウェアプリンター業者をはじめ、小物グッズ、スマホグッズ、ノベルティ、看板・

サイン関連など幅広い業種が訪れた。彼らのお目当てはガーメント

プリンター「SC-F2150」

と、純正ポリエステル生地用前処理剤（以下ポリ用前処理剤）。さら

に、8月下旬に発表されたばかりの小型昇華転写プリンター2機種

だ。多方面の業者から熱い視線が注がれた、これらの出展商品を1

つずつ見てみよう。

プリント品質も高評価の 濃色ポリ生地用前処理剤

まず注目したいのが、ガーメントプリンターとポリ用前処理剤。

「SC-F2150」は2018

年3月に発売された新機種で、従

来機「SC-F2000」に比べて

印刷速度が大幅にアップ。メン

テナンスの手間もほとんどかからないなど、ユーザー目線に立った機能が盛り込まれ、発売以来高い評価を得ている。

一方、同社純正のポリ用前処理剤は、定着温度が130℃と低く、濃色ドライTシャツの再昇華リスクを低減。前処理剤の塗布後とプリント後の乾燥温度が同じなので、プレス機の温度変更が不要で、簡単に扱えるのが魅力。もちろん、発色も鮮やかだ。昨年9月の発売以来、愛用者は増加中。そのウワサを聞きつけて、多くのウェアプリンター業者がエプソンブースに足を運んだのだらう。

すでに「SC-F2150」とポリ用前処理剤を利用しているユーザーからは、

「今まで受注できなかったポリTシャツの受注を始めた」

「綿Tシャツと同じ工程でプリントでき発色も良い」



①オーダーグッズビジネスショー2019で注目を集めた、エプソンのガーメントプリンター「SC-F2150」。綿はもちろん、ポリ用前処理剤を使った濃色ポリエステル生地へのプリント実演もおこなわれた。プリントされたTシャツを見るウェアプリント店らの目は真剣そのもの。ニーズが高まりつつあるポリ生地への対応力の高さに、満足げな表情を浮かべる来場者も多かった。

SureColor ガーメントプリンター「SC-F2150」基本スペック

標準価格：1,480,000円 ※ホワイトカラーモード、高速カラーモード共に。



解像度：最大1440×1440dpi
プリント速度：ホワイトインクモード・濃色時 約87秒、
淡色時 約27秒
高速カラーモード・淡色時 約15秒
印刷可能範囲：ブラテンL（406×508mm）
ブラテンM（356×406mm）
ブラテンS（254×305mm）
ブラテンXS（178×203mm）
ブラテンボロ・ジッパー（356×406mm）
ブラテン袖（101×101mm）

印刷媒体：厚み・最大25mm、重量・最大1.5kg、
素材・綿の混紡率100%～50%
インク：UltraChrome DGインク（エコパスポート
認証取得）：各色独立インクカートリッジ
電源電圧：AC100V、50/60Hz
消費電力：最大 約55W、スリープモード時 約10W
外形寸法：W985×D1425×H490mm
重量：約85kg

※表記価格は全て標準価格（税別）です。

【問い合わせ先】エプソン販売㈱ 購入サポート窓口 ☎050-3155-8380 ※販売特約店の詳細はエプソンのホームページに掲載。 URL epson.jp/surecolor/



①発売されたばかりのコンパクト昇華転写プリンター「SC-F550」の前には人だかりが。小物昇華転写グッズ作りに最適なサイズで、小規模業者でも導入しやすい価格が嬉しい。

②「SC-F6350」は44インチ幅に対応した昇華転写プリンター。大判のタオルなど、ある程度のサイズへの昇華転写に活躍してくれる。



「SC-F2150」では、綿ポディへのプリントしか想定していなかったが、この前処理剤を使って濃色ボリに対応できるようになった。プリント品質も十分。ドライTシャツは増加傾向なので、今後、積極的に受注したい」

など、品質の高さと使いやすさを実感する声が聞こえ、高い評価を受けていることがわかった。

「SC-F2150」とボリ用前処理剤でポリエステルへの対応力を強化したなら、次にチェックすべきは「SC-F550」。デスクトップタイプのコンパクト昇華転写プリンターで、44インチ対応

F550をキッカケに昇華転写ビジネスを開始

の昇華転写プリンター「SC-F6350」と共に発表されたばかりの最新モデルだ。

昇華転写とは、昇華インクを紙にプリントし、ポリエステル素材に密着させて熱をかけてインクを素材に転写する技術。オーダーグッズでは、淡色Tシャツやマイクロファイバータオルへの転写、マグカップやスマホカバーの作成など、幅広い分野に活用されている。

「SC-F550」の魅力は、小規模店にも設置できるコンパクト

サイズや35万円以下と導入しやすい価格、量産と小ロット対応が切り換えられるように、ロール紙と単票紙に対応している点。

さらに重視したいのは、「エプソンが保証してくれる機械」であること。オーダーグッズビジネスを展開する上で一番大事なのが、「しっかりとした保守により、安定して長期間使える機械」。エプソンブースで「SC-F550」に注目する来場者に話を聞くと、「メーカー純正機がこの価格で購入できるのはありがたいし、このサイズなら作業場に置ける」

「従来、このクラスでは水性機に昇華転写インクを詰め替えたモノしかなく、目詰まりや色が合わないなどのトラブルがあった」

「メーカーからサポートが受けられ安心して使える。純正紙、純正インクの価格もリーズナブル」と高評価。中には、「SC-F550」を導入して、昇華転写ビジネスに本格的に取り組もうと考える業者もあった。

「SC-F2150」とボリ用前処理剤による濃色ドライTシャツへの高品質プリント。安心して使える2台の新型昇華転写プリンター。このラインナップを見るだけでも、エプソンが「ボリ対応」に本気だとわかる。そして、コン

昇華転写プリンター「SC-F550」を使ったオリジナルスマホカバーの作り方



③「SC-F550」で転写フィルムにプリント。④プリントした転写フィルムをスマホカバーの上に乗せ、バキュームタイプの3D熱転写機にセット。⑤180℃で約9分間、熱と圧をかけた後、取り出して転写フィルムを剥がし、冷却する。⑥スマホカバーが完全に冷えたら完成。スマホカバー以外にも、マグカップやコースターなど、SC-F550は様々なオリジナルグッズ製造に活用できる。

パクト機「SC-F550」は完全なるOGBS業界向けで、「オーダーグッズ作りをしつかり支える」という、エプソンが見せた「覚悟」とも言える。エプソンの前処理剤、昇華転写プリンターによるポリエステルへのフル対応は、これからのオーダーグッズ作りの主軸になっていくだろう。



外形寸法：W970×D577×H245mm
重量：29kg（インク含まず）
印刷速度：21.0m²/h(速い)、7.5m²/h(きれい)、4.5m²/h(高精度)
最大ロール紙外径：110mm（重量17kg）
紙管サイズ：2インチ（芯径）
印字幅：最大604mm
必要マージン：上下左右3mm（フチなし印刷非対応）

✓ SureColor 昇華転写プリンター「SC-F550」基本スペック

標準価格：348,000円

対応用紙：単票紙（オートシードフィーダ）
用紙サイズ：A4/A3
用紙厚：0.12～0.27mm
単票紙（1枚）
用紙サイズ：210～610mm
用紙厚：0.12～0.27mm
ロール紙
用紙サイズ：210～610mm
用紙厚：0.05～0.21mm
インク：昇華転写タイプ各色独立インクタンク
シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック



標準価格：848,000円

外形寸法：W1,608×D914×H1,128mm
重量：94kg（インク含まず）
印字幅：最大1,112mm

44インチ対応の昇華転写プリンター
SC-F6350
も新登場